

1. 活動の概要

6月30日(金)、安来市立安田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに島根県埋蔵文化財調査センターの職員から、校区内の遺跡や『出雲国風土記』に名前がのっている場所の紹介と、土器などの出土品について話を聞きました。安田小学校では平成15年に行った校庭を広げる工事の際に、弥生時代の遺跡が発掘調査されています。自分たちの学校に遺跡があったことを知った子どもたちはとても驚いた様子でした。また、1300年前に書かれた『出雲国風土記』に記された神社などが現在も身近に残っているとの説明があり、自分たちが暮らす地域の歴史を改めて感じたようです。話の後には、出土品に触れたり持ち上げたりして、その手触りや重さを実際に感じていました。

休憩の後、火おこし体験を行いました。まい切り式の火おこし具を使い、2～3人が一組になって協力しながら行いました。前日からの雨に加え体験の時間も小雨が降る悪い条件で、もしかすると一組も火がおこせないのではと心配しましたが、みんな一生懸命に取り組み、ほぼ半数が成功しました。

2. 活動の様子



説明を熱心に聞いています。



2000年前の土器の重さは？



様々な色や形の土器があります。



両手でそっと持ち上げて…。

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- 火おこし体験が楽しかった。
- 本物の土器や玉を見たことが心に残った。
- 自分たちの住む地域に遺跡がたくさんあるとわかって驚いた。
- 勾玉づくりがしてみたい。
- 石包丁で稲刈りがしたい。
- 古墳の形についてもっと知りたい。
- 遺跡に行ってみたい。自分で探してみたい。
- 多乃毛社(※出雲国風土記に記載がある神社)についてもっと知りたい。
- 古代の道具で料理したい

2)担任の先生から…

○子どもたちの身近な場所に遺跡があることを伝えていただけたこと、また、火おこし体験もできたことが良かったです。火おこし体験の時間をもう少し長くとおけばよかったかなと思いました。

3)埋文センターから

○小学校の校庭にあった遺跡を紹介したことは、児童の皆さんにとって遺跡を身近に感じてもらうのに役立ったのではないかと思います。また、遺跡だけでなく、出雲国風土記に記された場所などについても説明しましたが、これについても興味をもってもらえてうれしかったです。

○火おこし体験では、前日からの雨で湿度が高く火がつかないかも知れないと思っていましたが、成功した組がたくさんあり、皆さんの頑張りに感心しました。